

風をみる者

東野高等学校同村会会報
No.22 2024年冬号
東野高等学校同村会(同窓会)
〒358-8558
埼玉県入間市二本木112-1



国語科
鬼嶋知見先生
2000年より勤務

前

回の会報を見て今年の文化祭(盈華祭)に来てくれた卒業生がいます。多くの会員である「卒業生」が読んでくれると思うと、少し緊張します。なぜなら、高校時代とは違う価値観になった皆さんがどういう気持ちでこの文章を受け止めるのだろうか心配になってしまったり。

私は、一貫して「目に見えないもの」に想いを馳せるということを書いてきたつもりです。もちろん、アントワヌドサンティエグジュペリ著『星の王子さま』の「大切なものは、目に見えない(Le plus important est invisible)」に感化されたことです。いつ読んでも大好きです。だから、今こうして文章を書きながら、みんなどうしているかな?と想像し、まずは元気だったらいいなとか、起業する!と言ってたけれどどうしたかなとか、双子を育てながら毎日バタバタ過ごしているんだろうなとか考えてしまいます。

さて、皆さんは高校時代の思い出や東野高校に想いを馳せたりしますか?東野高校も来年には四〇周年を迎えます。ちなみに学園創立一〇〇周年です。様々な変化を遂げています。食堂はFuture View Base(未来を見つめる拠点)として生まれ変わり、大講堂前の中央広場だけでなくHR通里もインターロッキングとなり、バリアフリー化され防災対策が強化された校内。イメージできるでしょうか。英検MPTXとして英検取得に全力を傾ける一週間。苦手な英語だつてみんなで一つの目標に向かって頑張り、勝ち取った合格の喜びを想像できるだろうか。時代とともに変化する学校施設や教育内容。変化するのが当たり前……なのだけれど、その変遷を見てきている私は、その変化を忘れたくないと思う。そして同時に、現状を大人になった皆さんとともに見て語り合いたいと思うのです。

この年月は私の変化も生み出した。授業で「キャンキャン」怒っていた私が、今でも「キャンキャン」言いつつも怒るときには低いトーン

◆ 会報冬号連載企画

お世話になった先生方より

多くの卒業生がお世話になりました。
現在も東野高校でご指導にあたられています。



国語科
河野秀夫先生
2002年より勤務

卒

業生の皆さん、こんにちは。河野秀夫と言います。私がこの東野高校に赴任してもう二十三年が経ちました。赤ん坊が大学を卒業し、社会人になるほどの年月が経ったと考えると、非常に感慨深いものがあります。

九月に実施された文化祭では、多くの卒業生が顔を見せに来てくれました。それこそ二十年前の生徒から、昨年の卒業生まで、懐かしい面々が訪れてくれました。社会人になった人、結婚した人、親になった人……それぞれの近況を教えてもらいました。皆よく高校生の時のことを覚えていて「先生、あの時こう言ってくれましたよね」「先生のあの言葉が今でも自分を励ましてくれてるんです」とありがたい言葉を沢山頂戴しました。正直に言えば在学中は上手にフォローできず悩んでいた生徒もいましたが、そんな生徒からも感謝の言葉を届けてもらえました。その時その時一杯悩みながら、何が生徒のためにいいのか試行錯誤してきたことに対して、数年越しに答え合わせができたような気持ちになります。そして、これこそが教員という仕事の醍醐味なのかもしれません。

卒業生のみなさんは、東野高校の「教え子」となります。この言葉には「子」とあるように、みなさんは間接的な私たちの子どもです。みなさんが元気であれば私たち教員も嬉しいし、辛い状況にあると聞けば労いと励ましを届けたくくなります。機会があれば是非みなさんの顔を見せに来てください。また次年度には大同窓会が実施されると聞いています。そこでも懐かしい顔ぶれに会えたらと思いますし、気持ち新たに歩みだす時間になることを祈念しております。

さて、卒業生の皆さんからすると、東野高校の著しい成長に戸惑う人もいるかもしれません。二十年前から東野高校にいる先生もわずかとなくなりました。しかし、東野高校の本質は変わりません。生徒の為に何ができるか考えている先生ばかりです。心の距離が近いことも昔と変わりありません。ですから、卒業生の皆さんも外見は年を重ねて変化したとしても、内面には高校生の頃と変わらない熱い志を持ち、今に心を込めて下さい。

最後に私の好きな言葉を紹介して、卒業生の皆さんへの贈る言葉と代えさせて頂きます。

玉川学園の創立者である小原國芳の言葉で、私自身が恩師からいただいたモットーとしている言葉でもあります。「人生の最も苦しい いやな辛い 損な場面を 真っ先きに 微笑を以って担当せよ」。

大同窓会 開催決定!

◇日時: 2025年6月29日(日)14時～ ◇会場: くすのきホール (所沢駅東口より徒歩1分)

お世話になったすべての先生をご招待します。先生を囲み、高校時代のあの頃に戻りましょう。
会費は 4,500円前後を予定。出席の確認は、来春におこないます。
スケジュールの調整をよろしくお願いいたします。

同村会 SNS
はじめました!
フォローお願いします



第三十九回 盈華祭 「祭喜笑天」

九月十五日(日)今年もまた、賑やかに盈華祭が開催されました。まだまだ暑さのある中、生徒たちは揃いのクラスTシャツを着用し、一丸となり盛り上がりつつありました。

今年はホームルーム通りが改装され、クラス企画のテントも多く並べられるようになり、さらに賑わいが増したように感じました。ここ数年は、コロナウイルスの影響もあり、食品企画も減少していましたが、今年には三年の全クラスが食品を出していました。近年の卒業生は、驚いたのではないのでしょうか。大講堂では、ダンス部。体育館では、軽音楽部や合唱部の発表。クラス企画は、お化け屋敷に、ドーナツ、もつ煮、まぜそば…。また「クワバックス」「海辺のマルシェ」「未来ワールド」「RASHIMA」など面白ネーミングもありました。どの企画も盛り上がり、生徒・来校者ともに笑顔があふれていました。

十五日は、卒業生だけでも五七〇名ほどの来校がありました。スクールバスの到着のたびに受付は長蛇の列。受付を担当していた生徒も、暑い中、交代で来校者の案内をしていました。それぞれ案内をするのが大変そうに思いましたが、声を出し先生たちと協力して一生懸命に案内をしていました。

同村会は、「卒業生の休憩所」として、教室に各期の卒業アルバムを展示し、思い出の写真を涼しい部屋で閲覧できるように

「祭り」で世界を平和に

しました。当日は、たくさん卒業生が足を運んでくれました。皆、自分たちのアルバムはもちろん、先輩、後輩のアルバムを見て、懐かしんだり、違いを見て驚いたり…。様々な思い出を口にし、高校時代に戻ったかのように賑やかでした。また、訪れる人の中には、久々の再会を喜んだり、思い出話を通して、新たな出会いがあったり、新しいコミュニケーションの場にもなっていました。退職された先生も足を運んでくださり、卒業生と写真を撮ったりされていました。来年の大同窓会に、大好きだった先生を必ず呼んで欲しいとお願いに来る卒業生もいました。

同村会は、皆様の大切な思い出を、たくさんの方との繋がりを、大切にしています。卒業アルバムもその一環として、全期分保管を目指しています。しかし、残念ながら三十四期、三十五期のアルバムがありません。卒業アルバムを寄付いただける卒業生がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡をお願いいたします。

最後になりましたが、教室には、今年もまた「同村会基金」の募金箱を設置しました。募金総額は二、三八三円。基金口座に入金いたしましたこと、この場にてご報告致します。募金に協力下さった皆さま、本当にありがとうございました。



●卒業アルバム寄付のお礼

四期生の卒業生より、卒業アルバムの寄付がありました。四期生同士のご夫妻。「二冊あるので一冊どうぞ」と学校まで届けて下さいました。寄付いただきましたアルバムは、私たちが責任を持って保管、管理いたします。ありがとうございました!

“ 会報届いてる? ”

来年はいよいよ大同窓会開催です。オレンジ封筒の会報が届いていない方には、大同窓会の案内も届きません。
会報が届いていない卒業生探しにご協力をお願いいたします。

◆ホームルーム通りが一新



施工後



施工前

今年夏、ホームルーム通りの改修が行われました。来年には創立四〇年を迎える本校ですが、パターン・ランゲージを提唱した建築家、クリストファー・アレグザンダーが国内で初めて手掛けた建築ということで注目され、多くの建築雑誌などで本校が取り上げられました。ホームルーム通りも当然、ふれられています。

例えば「中央広場を越えて第三の門を通り抜けると、ホームルーム通りがある。ホームルーム通りは広く活気に溢れ、陽の当たる通りである。その両側にはそれぞれ独立した教室棟が並んでいる」

「中央広場からホームルーム通りへと入ってゆくとその行止まり部分に白漆喰の袴をはいた板張りで上部を覆っている高さ約一三mの多目的ホールが見える」(「新建築」一九八五年六月号)

「教室棟の建物群は、花壇が据えられたホームルーム通りを挟んで二列に延びており、外側は列柱が並ぶアーケードで結ばれている」(「建築巡礼 ポストモダン編」(NIKKEI ARCHITECTURE 2009))

本校キャンパスにはたくさん自慢の風景があるわけですが、例にあげたこれらの記述からも、ホームルーム通りもそのひとつであることがよくわかります。

一方で、在校生がより安全安心に学べる環境整備も欠かすことができません。近年は大地震の多発、豪雨や台風など自然災害への備えを改めて考えさせられています。このホームルーム通りは緊急時、教室棟からの避難経路となっています。多くの生徒がホームルーム通りを抜けて総合(人工芝)グラウンドに集まります。その通りは砂利敷きで段差があり、扉があつて門もありました。防災訓練のたびに、避難経路として心配という指摘があがっていました。

そこでどのように改修すべきか数年前から教職員による校内整備プロジェクトのなかで検討を重ね、多目的ホールとの一体性など通りの構造は維持しながら中央広場との連続性を考慮し、ホームルーム通りをインターロッキング舗装とすることに決定し、今夏、無事に工事を終えることができました。ホームルーム通りには卒業記念品として寄贈された時計があり、そのまま残しました。卒業記念の植樹も他の場所に移植しました。

このように安全安心のための改修でしたが、広々とした空間を日々の学校生活や行事に活用しない手はありません。工事了ら直後の盆華祭では、ホームルーム通りが「フードコート」となり三学年のクラス企画による模擬店がいくつも並び、中央広場からの動線が伸びて盆華祭の一層の盛り上げに貢献していました。建築雑誌で評価された「広く活気に溢れ、陽の当たる通り」はなら変わりなく、これからも新しい本校の「新しい顔」になってくれるのではないかと期待しています。

なお、安全安心に学ぶ環境整備はこれにとどまらず今夏、体育館の空調設備をパワーアップしました。熱中症対策は喫緊の課題です。昨年、体育館に試験的に空調機を入れたのですが、台数をいっしょに増やしました。夏期の体育の授業はもちろんクラブ活動、さらには学校説明会などで体育館が有効に使えていることも付記させていただきます。(学校長 小野田正利)

部活動の活躍

●男子サッカー部

第103回全国高校サッカー選手権埼玉県1次予選ブロック決勝進出

●陸上競技部

令和6年度国民スポーツ大会西部支部予選 共男子走高跳 R.T (2年) 3位 1m80cm
A男子 100m N.T (2年) 5位 11秒05
令和6年度埼玉県新人陸上競技大会 男子三段跳 R.T (2年) 7位 13m36

●男子バレーボール部

学校総合体育大会西部地区予選 代表決定戦勝利 ※県大会へ
学校総合体育大会埼玉県予選 1回戦突破

●弓道部(女子)

学校総合体育大会埼玉県西部地区大会個人戦 1次予選突破 M.Y (2年) ※県大会出場
学校総合体育大会埼玉県予選個人 1次予選突破 M.Y (2年)
令和6年度関東高校弓道個人選手権大会埼玉県予選 K.I (2年) 16位

●剣道部(男子)

学校総合体育大会埼玉県予選団体戦 1回戦突破

●ダンス部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2024 HIPHOP女子部門Large編成 優勝
HIPHOP男女混成部門Small編成 出場

●男子バスケットボール部

学校総合体育大会西部地区予選 1回戦突破

●野球部

第106回全国高等学校野球選手権埼玉大会 2回戦突破

●吹奏楽部

令和6年度吹奏楽コンクール 県大会Bの部 金賞 西関東大会 出場決定 ※2年連続2回目
第30回西関東吹奏楽コンクール Bの部 金賞
第30回日本管楽合奏コンテスト予選審査会 高校生A部門予選通過 全国大会へ出場決定

●テニス部

埼玉県新人大大会西部地区予選 男子団体戦ブロック決勝勝利 埼玉県大会へ出場決定

2024年度
新役員
(●は卒業期)

会長
北澤 理恵③

副会長
遠山 尚①

事務長
伊達 亮介③

経理
小池 直美①
嶋田 明美①

監査
羽田 寿孝③

広報
高橋 古志夫④

下津 郁也②③

毒島 純③

毒島 美泉③④

深澤 寛⑤

真仁田 行宏②

八重樫 隼③④

九

月十五日(日)東野高校にて、二〇二四年同村会総会がおこなわれました。

お忙しい中、中川進理事長、小野田正利校長にはご挨拶をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。また、ここ数年、同村会の担当としてご尽力いただいております前田良郎先生、事務局の西谷律子さんも出席いただきました。

総会では、活動報告と合わせて、役員選出、今後の活動予定、予算案などが討議されました。採択済みの議案書につきましては、同村会のホームページにアップされておりまして、ご確認下さい。

<https://www.dousonkai.com/pdf/p-statement2024.pdf>



今年度は、二十代の若い力が、同村会役員に加りました。東野二世でもある三十二期毒島美泉さん。そして以前より活動に興味を持っていただくと、総会当日に会場で立候補下さいました三十三期八重樫隼さん。ここ数年、次世代へ

の引き継ぎを課題にして参りましたが、これを機に、少しずつ若い力へと引き継がれていくことを願ってやみません。

来年は、一大イベント「大同窓会」が開催されます。より多くの方に参加いただき、お楽しみいただけるよう、準備を進めてまいります。

様

々な価格高騰が起きているなか、十月より郵送費が値上げされました。ペーパーレスが謳われるこの時代に、会報発送を二回もしていることに対し、これまでも様々なご意見をいただいております。

収支の見直しの意味も含め、ネット配信も検討していく必要はありますが、繋がりが見えるため、郵送物の発送は今後も続けていきたいと思っております。

同

村会は卒業生の皆さまからの会費により活動しています。ご自身の会費がどのように使われているか、関心をお持ちいただけますよう、活動内容や収支に対しても、どんどんご意見下さい。今後とも同村会の活動にご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

ポーとししやもの

東野散歩



あれ?
この道って砂利道だったよね
いまは花が咲いていてきれい...
散歩すると気持ちがいいんだらうな

むかしは木の窓だったけど
今はサッシになってかっこよくなったな
ここは確か美術室だったかな



どこかのテーマパークに
来たのかと思ったよ
ここは花壇がなくなったんだね
なんだか見晴らしがよくなった?

同村会基金

お振込先

埼玉りそな銀行入間支店 普通口座

● □ 座番号 1384371

● □ 座名 東野高等学校同村会
(ヒガシノコウトウガッコウドウソンカイ)

卒業生の「ちから」

info@dousonkai.com

以下のお仕事をされている卒業生を探しています。
お仕事で、同村会とつながってください。

外構工事、石材業 同村会室のある、活動会館前の石階段の修理をお願いしたいです。

印刷業 会報、封筒、総会案内はがきなどの印刷を請け負って下さい。ご連絡お待ちしております。



発行 東野高等学校同村会 (同窓会)
〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1
東野高等学校内



FAX 04-2934-6462
メールアドレス info@dousonkai.com
ホームページ https://www.dousonkai.com

